

The Environmental
Challenge

Sustainability
Report 2024

みらい book

The Environmental
Challenge

アンケートに
ご協力を
お願いいたします。



SANKO

TEL 0859-44-5367

FAX 0859-42-3864

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17

<https://sankokk-net.co.jp>

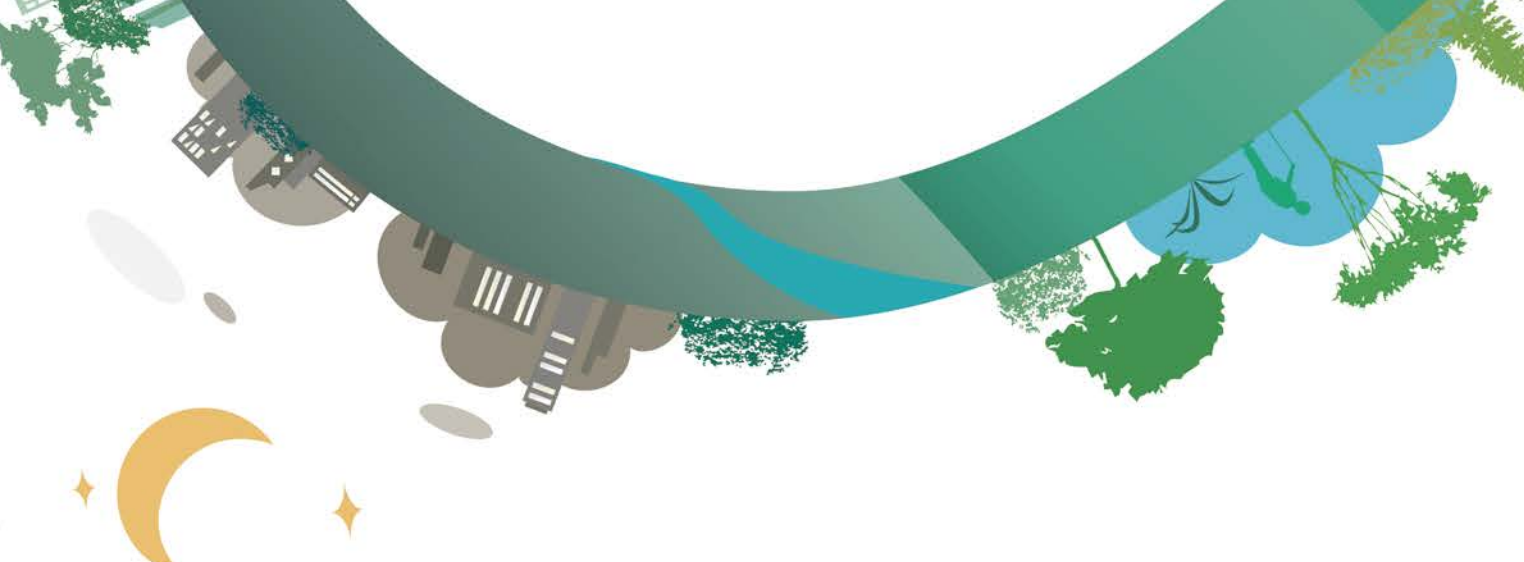
▶ 会社概要

商号	三光株式会社
代表者	三輪 昌輝
設立	1979年9月
資本金	4,800万円
従業員	326名(2025年1月1日現在)

エコで未来を創造する。

SANKO

Creating The Future with Eco



ECOで 「みらい」を 創造する。

三光が取り組んできた1年間の活動を
1冊に集約しました。

新たに広がる事業活動や、
持続可能社会の実現に向けての
環境活動・地域貢献活動を
ご報告します。

SANKO

Sustainability Report 2024

[報告範囲]

対象組織：三光株式会社

※一部、三光グループ会社の活動報告を含みます

対象期間：2023年10月～2024年9月

※一部、対象期間外の情報を含む他、
環境データは2023年4月～2024年3月としています

index

編集方針／目次	02
メッセージ 代表取締役社長 三輪昌輝	04
TopNews2024	
（潮見コンビナート 焼却発電施設本格稼働開始）	06
環境について	08
地域について	10
コンプライアンスについて	12
社員について	14
コラム	16
三光グループの取り組み	17
企業データ	18
会社概要／編集後記	22



過去から学び、 次なる挑戦を

小さなチャレンジを繰り返し 変化するニーズにお応えする

三光 株式会社
代表取締役社長

三輪 昌輝

毎年弊社が発刊していますSustainabilityレポート「みらいbook」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。

今回のテーマは、「過去から学び、次なる挑戦を」としており、昨年度取り組んだ事業並びに実績をご報告申し上げます。

さて、私たちの社会が直面している環境問題は、地球規模での持続可能な未来に対する重要な課題であります。気候変動、生物多様性の減少、資源の枯渇など、これらの問題は私たちの生活や経済活動に深刻な影響を与えています。その状況下において、この近年、循環型社会から持続可能な社会（SDGs）へ、そしてカーボンニュートラル（CN）、循環経済（CE）、グリーントランスフォーメーション（GX）、ネイチャーポジティブ（NP）と様々な環境社会概念が凄まじい早さで変化、創出されており、私たちは、その流れについていくのに必死であります。そこで取るべく経営方針は、早く、小さくチャレンジすること。つまり、「アーリースモールスタート」にあると考えています。とにかくやってみよう、成果が上がりそうであれば伸ばし、期待できな

いのであれば止める、この繰り返しでありました。

いくつかのチャレンジの中で、昨年一番大きかったことは、10号炉の稼働であります。企画から5年を有して、ようやく稼働することができました。これまで、施設の定期修理時などお客様に排出量の調整などをお願いすることがございましたが、10号炉の稼働によって、解消できるものと安堵しております。加えて、発電量が大きく、余剰電力が生まれ、活用する仕組みができました。電力以外でも蒸気そのものを地域で利用していく取り組みもスタートしていく予定です。このように廃棄物処理を軸として、そこから発生するエネルギーを活用することで、前述の環境問題の解決や、社会概念の具現化に少しでも寄与できることに幸せを感じています。

お客様のニーズは常に変化されます。そして社会も常に変化し続けています。私たちは、その変化にお応えべく、小さな挑戦を繰り返して参りたいと考えています。今後も弊社をご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



企業理念

私たちは人類の永続と繁栄と幸せのため

創造的思考をもって楽しく、真面目に、一所懸命行動し

地域にとってなくてはならない企業であり続けます。

三光株式会社は、企業理念の根幹たる「地域にとってなくてはならない」を創造し、今日まで活動して参りました。近年、「環境」は世界の中心課題であり、SDGsを旗頭に持続可能な社会を構築するべく、活動が日本でも大きく広がってきております。弊社も、17の目標を正しく理解し、その一助となるべく、「楽しく」、「真面目に」、「一所懸命に」活動して参りたいと考えております。引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



Top News 2024

潮見コンビナート 焼却発電施設の本格稼働開始

2024年8月より、高効率発電機能を兼ね備えた新たな焼却炉（10号炉）の本格稼働がスタートしました。本施設の稼働に伴い、従来の潮見工場（7号炉）、ウェストバイオマス工場（9号炉）を含めた3施設の総称を「潮見コンビナート」としました。

焼却処理ニーズの高まりと 民間企業の役割

建設に至った背景として、焼却処理ニーズの高まりがあります。少子高齢化が進み人口減少が進んでいる日本において、自治体や公共団体が所有する焼却炉の維持が困難となり、一般廃棄物の処理を民間企業に委託する動きが加速していくことが予想されます。そして近年、気候変動によって各地で自然災害が増加しており、災害廃棄物を自治体や公共団体に処理することが困難な場合に、民間委託（※）を受けて焼却処理をする必要も考えられます。

※弊社では2020年より、本社がある鳥取県境港市を含む27の団体と「緊急事態発生時における廃棄物処理に関する協定」を締結しております。



CO2削減と クリーンエネルギーへの 取り組み

今回、廃棄物の安定処理とともに、従来のサーマルリサイクルによる発電量をはるかに上回る発電が可能になりました。この電力は、廃棄物を処理する際に発生した熱エネルギーを利用した発電のため、非化石由来の電力であるとして、「非化石証書」を取得しています。潮見コンビナートで使用する電力は自家発電でまかない、余剰分の電力は地域の電力会社へ売電しています。

※非化石証書とは…化石燃料を使わずに発電された電気（非化石電力）の環境価値を証明する証書です。太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギーや原子力発電などによるものがあります。《非化石証書残高 901,420kwh（2024.7～9月現在）》

地域のレジリエンスを 高める拠点として

この発電施設は、廃棄物を燃料とする発電のため、万が一災害等によって外部からの電力供給が停止した場合でも運転し続けることが可能です。また、地域において災害等が発生した際の廃棄物受け入れに備えて、一般廃棄物処理に適したストーカ炉を、7号炉より3倍近く長く設計しています。さらに、電気自動車「SAKURA」を使用して避難所への電力供給も想定しており、地域のレジリエンス向上に資する施設として建設しています。廃棄物は適正処理するだけのものではなく、地域から排出される「資源としての価値」が非常に高いと言えます。そのため、マテリアル・サーマルなどのリサイクルを通じて、地域資源を循環利用することにより、地域や脱炭素社会に貢献できると考え、この施設が今後も重要な役割を果たすことを期待しています。

営業部門向け勉強会を行いました！

2024年7月16日（火）・17日（水）の2日間にわたって、潮見コンビナート10号炉の営業部門向け勉強会を行いました。この勉強会は、営業部門の社員を中心に新しい設備の理解を深める目的のもと開催しました。講師を技術推進課 課長が務め、2日間で沖縄営業所を含む各拠点から、約50名の社員が参加しました。勉強会では、10号炉の建設に至った背景や地域貢献の側面からどのような役割をもっているのか、既設の潮見コンビナート7号炉との違いを説明し、その後実際に工場へ入場して、お取引先をご案内することを想定しながら設備を見て回りました。



■ 施設の目的や概要を説明中



■ 施設を見学中

お披露目見学会を行いました！

2024年10月8日（火）～11日（金）、潮見コンビナート10号炉のお披露目見学会を行いました。4日間で、全12回の見学会には、山陰を中心に遠くは沖縄県から110名のお客様にご参加いただきました。見学会では、まず代表取締役社長三輪より、参加された皆さまへお礼と挨拶をしました。その後、会社概要と10号炉の説明を行い、実際に工場設備を見学いただきました。



■ 参加される皆さまへの挨拶



■ 焼却確認窓から炉内見学

未来をつなぐ 環境学習とパートナーシップ

環境と学生をつなぐ学びと実践の場

弊社では今期も、小学校・中学校・高等学校・大学等、多くの教育機関と連携し、講義や工場見学の受け入れなど行ってまいりました。ここでは、大学との連携事業について報告します。

島根大学フィールドワークの受け入れ

国立大学法人島根大学地域人材育成コースの学生の皆さんが、フィールドワークの一環で江島工場（島根県松江市）の見学にられました。

このフィールドワークは、中海・宍道湖・大山圏域市長会協働のもと行っている「イノベーション創成基礎セミナー」の授業の一環で、「圏域5市（松江、出雲、安来、米子、境港）の特色や課題について学ぶ」ことを目的としたものです。

この目的に基づき、弊社の主軸事業である廃棄物処理・リサイクルに関する事業内容や、教育機関との取り組み等を説明し、圏域内の企業として、地域とどのようなつながりがあるのかを学んでいただきました。その後は、リサイクル燃料を製造している様子や焼却炉内の様子などを見て体感してもらうことで、実際に見たり聞いたりして感じた疑問について、率直な質問をいただくことが出来ました。



■ 島根大学「イノベーション創成基礎セミナー」



■ 質疑応答の様子

鳥取環境大学「人的資源管理論」の講義に登壇

公立鳥取環境大学の「人的資源管理論」の講義にて、社長の三輪が登壇し、SDGs企業認証取得事業者としての事例発表を行いました。講義の中では、事業内容やSDGsに関連した取り組み、廃棄物処理に関するルール・法律などをお話しました。さらに「とっとりSDGsビジネスアワード2023」にて《最優秀賞》を受賞した特例子会社株式会社サンライズさんごうの取り組み「もったいないりゆうす」についてもご紹介しました。



■ 鳥取環境大学「人的資源管理論」

ゼロカーボンインターンシップの受け入れ

鳥取大学振興協力会の主催で開催された「ゼロカーボンインターンシップ」の受入企業として、学生の受け入れをしました。2名の学生さんにインターンシップ先として選んでいただき、1日目は、脱炭素の取り組みを中心とした座学や見学、2日目はグループワークとプレゼン発表を行いました。グループワークでは、1日目に学んだことを活かして、「就職活動をする学生を対象として三光の脱炭素の取り組みを紹介する」というお題でチラシの制作をしてもらいました。またこのインターンシップには2025年卒の内定者にも参加をもらい、参加した学生さんと近い目線でのコミュニケーションはもちろん、グループワークもアイデアが膨らみ、より充実したものが完成したのではないかと思います。



■ ゼロカーボンインターンシップ

CO2削減と持続可能な未来への貢献

地球温暖化をはじめとした環境問題の解決を目指して、多くの企業がCO2などの温室効果ガス排出削減や、CO2吸収量の増加につながる事業に取り組んでおられます。

三光でもカーボンニュートラルの一環として、カーボンクレジット・オフセットに取り組んでいます。

廃棄物処理由来の発電（廃棄物発電）によるCO2排出削減

廃棄物を焼却処理する工程で発生する熱エネルギーを、有効なエネルギー資源として蒸気に変えて発電を行い、買電力を減らすことで、温室効果ガスの排出削減に貢献。

さらに、江島工場と潮見工場で、J-クレジット制度排出削減事業認証を受けており、カーボンクレジットにも寄与しています。

※J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

参考:「J-クレジット制度」<https://japancredit.go.jp/about/outline> (2025年1月)

Jブルークレジットの購入

「萌える海藻！鳥取県の豊かな海を育む大作戦」より創出されたJブルークレジット®のうち《0.6t(t-CO₂)》を購入し、カーボンオフセットに寄与しました。

「萌える海藻！鳥取県の豊かな海を育む大作戦」とは

鳥取県の豊かな海を育む協議会が取り組んでいる、鳥取県のアラメの藻場から創出されたCO2吸収量をクレジット化し、藻場保全の取り組みに賛同した企業にJブルークレジットとして購入していただく活動です。クレジット販売で得られた資金は、アラメ等の種苗購入や、ウニ類等の駆除などの経費にあて、持続的な藻場形成のサイクルを生み出し、鳥取県の豊かな海を育む取り組みに役立てられます。

※Jブルークレジット制度とは、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合【JBE】が創設し、2020年度から取引が開始された新しい制度です。沿岸や海洋生態系に特化した特徴があります。



■ 応援企業認定セレモニーでの集合写真

環境ボランティアの実施

三光グループでは、春と秋の年2回、環境ボランティアを実施しています。ボランティアの日には、三光ホールディングス(株)、三光(株)、三光エナジーサービス(株)の社員とご家族、総勢120名を超える参加者が集っています。潮見工場や江島工場、各営業拠点で、草刈りやゴミ拾いを行い、短い時間ではありますが、大きな袋がいくつもパンパンになりました。また、顔を合わすことが少ない社員同士の交流の場ともなっています。



■ 力を合わせて草を刈ります



■ 江島工場集合写真



■ 倉吉営業所集合写真

地域と共に歩む サステナブルな社会づくり

教育機関との地域貢献の関わり

キャリア教育や探究学習など、教育機関と連携し、地元企業として提供できる様々な学習活動に参加させていただきました。

大人トーク(境港市立第二中学校)―2023年9月、10月、2024年1月『生き方×境港』をテーマに、境港市内の企業で働く大人たちに対して、『どのような会社に勤めているか?』『なぜその会社に入ったのか?』など生徒の皆さんからの質疑応答を通じてコミュニケーションをとりました。計3回の交流を行い、最終日には生徒の皆さんがどのような将来を意識するようになったのか、自分の未来について考えたことなどを発表されました。

探究の時間(立正大学浜南高等学校)―2023年9月～12月探究学習として、生徒の皆さんが“SDGs達成に向けて企業が実際にどのような取り組みを行っているのか”を調査・分析し、企業の取り組みのPRと社会への啓発動画を作成されました。弊社では、2名の生徒さんと交流し、月に複数回メールでのやりとりを通して動画作成のお手伝いをしました。

ふるさとキャリア教育フェスティバルに参加

2024年2月3日(土)、鳥取県立倉吉未来中心(鳥取県倉吉市)にて鳥取県教育委員会主催のふるさとキャリア教育フェスティバルに参加しました。パネルディスカッションでは、「親子でおしごと体験ツアー」(2023年8月開催)を受け入れた6社から様々な年齢・役職の7名がステージに登壇し、様々な視点から働くことについて考えるパネルディスカッションを行いました。さらにミニお仕事体験では初の試みとして「映えるリサイクル燃料(RPF)作り」を実施しました。当ワークショップはリサイクル燃料(RPF)がどのような原料から出来ているか学ぶために、原料である「プラスチック」「紙くず」「木くず」「繊維くず」を模擬的に用意して、実際の割合に合わせ、好みの容器に入れて作っていくというものです。小さなお子様から中学生と幅広い年代の皆さんにご参加いただき、リサイクル燃料を身近に感じていただけたのではないかと思います。

ワクワク境港(境港市立第一中学校)―2024年9月11～13日職場体験学習として2名の生徒さんに本社へお越しいただきました。工場・事務所見学や、Instagramを使用した広報活動体験の他、3日間の体験を元に「三光の認知度UP」をテーマとした企画の立案および発表等、様々なお仕事を体験していただきました。



■ ワクワク境港にて企画発表の様子

境考学(鳥取県立境高等学校)―2024年9月18日18社の地元企業団体が集まり、境高校の1年生へ向けて企業や団体が取り組んでいるSDGsに関する活動等をポスターセッション形式にてお話ししました。弊社では排熱を利用した発電や陸上養殖等、事業内容を織り交ぜながら幅広いSDGsに関する取り組みを紹介しました。



■ 境考学にてポスターセッションの様子



■ パネルディスカッションの様子



■ 「映えるRPFづくり」での作品

第33回境港ペーロン大会へ出場

2024年7月28日(日)、昨年に引き続き境港ペーロン大会※に参加しました。今年も、ベテランから若手社員まで部署の垣根を越えた社員が集まり、一か月の間、週に一度のペースで練習を重ねました。大会では、あと一步のところまで予選敗退という結果でしたが、全員で力を合わせ、練習から本番まで楽しんで参加することができました。

※中国から伝わったとされる、細長い舟に30名程度の漕ぎ手が乗り行われる競漕のこと。



■ 部署を越えたメンバーとの集合写真



■ ペーロン大会

鳥取県産業資源循環協会西部協議会主催の親睦ボーリング大会

2024年6月28日(金)、鳥取県産業資源循環協会西部協議会主催の親睦ボーリング大会に参加しました。当大会では昨年度と同様に、鳥取県西部より19社が参加し、チーム戦が展開されました。弊社は江島工場から2名、潮見工場から2名の腕自慢を集めた合同チームで出場し大会に臨みました。大会結果は昨年度を上回る団体2位の好成績を残すことができ、近くの席におられた他チームの皆さんともハイタッチをして称え合い、楽しみながら交流の輪を広げることができました。



■ 表彰後の記念撮影

施設・公園等の芝生化

昭和工場で製造された焼却灰を原料とする有機肥料を、鳥取県境港市内の施設・公園等の芝生化事業に活用しています。農薬を使わずに芝生を栽培し、有機肥料を使用することで、地域の皆さんにとって安全な施設づくりに貢献します。第一段として、旧誠道小学校跡地のグラウンドを芝生化し、こちらは鳥取県を本拠地とするサッカークラブ「ガイナレ鳥取」のアカデミー組織(高校・中学年代チーム)の活動拠点として使用されます。今後、境港市ならびに株式会社SC鳥取様との連携・協力のもと、境港市内の未芝生化公園の芝生化を進めていく予定です。



■ 敷設された芝生

日々の学びと教育訓練で築く 強固な基盤

PFOS及びPFOA含有廃棄物処理についての社内勉強会

2024年4月にPFOS及びPFOA※含有廃棄物処理についての勉強会を行いました。コンプライアンス推進課課長が講師を務め、3日間を通して営業・工場・物流・事務部門の社員が、オンライン参加を含め約45名参加しました。勉強会は、環境省が定めた処理ガイドラインに沿って行われ、「適正処理をするために定められている基準」や、「廃棄物処理業者としてお客様にどのようなご提案ができるのか」などを考える機会となりました。

※いずれも有機フッ素化合物の一種で、耐熱性や撥水性、撥油性に優れているため、さまざまな製品に使用されてきました。しかし、これらの化合物は難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質を持ち、環境や食物連鎖を通じて、人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されていることから、PFOSは2010年、PFOAは2021年以降、製造や輸入が原則として禁止され、使用にも制限がかけられています。

参考：環境省「PFOS、PFOAに関するQ&A集」(2025年1月)



勉強会の様子

お客様へ向けた廃棄物セミナー

2024年1月12日(金)、イワタニ山陰株式会社様にて廃棄物セミナーを行い、コンプライアンス推進課課長が講師を務めました。セミナーには、オンラインを含む35名の方々にご参加いただき、事前にいただいたリクエストに沿って、5つの項目に分けてご説明しました。

- 1. 基本的な廃棄物とは
- 2. 産廃と有価物の違い
- 3. 産廃契約書の約束事
- 4. マニフェストの運用ルール
- 5. 電子マニフェストのメリット

質疑応答では、事業内容に基づいた実践的な質問が多く寄せられ、対面で行うセミナーの意義を改めて実感しました。



質疑応答の様子

環境整日を制定した活動

2024年3月より、江島工場では月1回、「環境整日」として工場スタッフが場内の清掃活動に力を入れる日を制定しました。当活動では、江島工場内各グループの垣根を超え、様々な設備や周辺の清掃を行っており、5S活動の促進に寄与しています。また、社員間の縦・横のつながりを深めつつ、場内設備について改めて学ぶことができる機会となっています。



Before



After

マニフェスト専門部門の発足

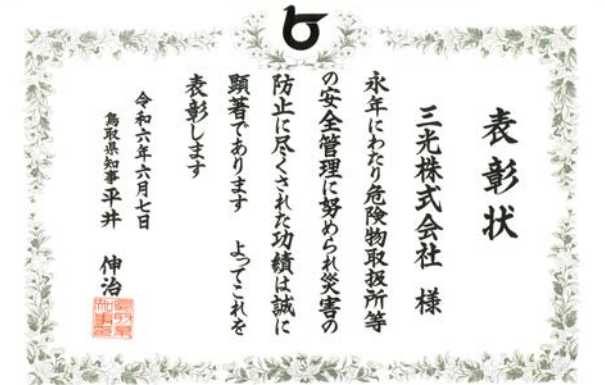
2024年4月より、マニフェスト専門部門を立ち上げ、マニフェスト処理の運営体制を刷新しました。本チームの発足により、これまで各工場単位で行っていたマニフェスト処理作業を一括して行うことが可能となり、作業の円滑化および正確性の向上が期待されます。今後もコンプライアンス基準に沿ったルール遵守を第一に、お客様のご要望に応えられる運営に努めます。



マニフェストのデータ入力作業

鳥取県危険物安全大会にて県知事表彰を受彰

2024年6月7日(金)にホテルセントパレス倉吉(鳥取県倉吉市)で行われた「令和6年度鳥取県危険物安全大会」にて、鳥取県知事表彰を受彰しました。この度、長年に渡る危険物の安全管理に関する取り組みを評価いただき、受彰に至りました。今後も危険物取扱業者として無事故無災害を心掛け、安全・安心を第一に業務に取り組み、法令遵守に貢献します。



表彰状

社員の成長とモチベーションを追求する取り組み

こども参観日

2024年8月より本稼働した潮見コンビナート新焼却発電施設(10号炉)および新管理棟にて、社員向け親子参加型イベント「こども参観日」を開催しました。本イベントは、社員のお子さんを招待し、「家族の職場を覗いてみよう!」をテーマに、工場見学、ワークショップ、昼食交流会などを体験してもらう内容です。以前行っていた、社員のご家族に参加いただくイベント「社員ご家族環境フェア」から13年ぶりとなり企画をリニューアルして開催しました。



陸上養殖場のキジハタを材料にした手巻き寿司づくりの様子

永年勤続表彰

三光グループの発展のために尽力し貢献してきた社員に対して、入社20年・30年という節目の年に功労を称える、永年勤続表彰の授与を行いました。今年度は、11名(勤続30年2名、20年9名)の社員が表彰を受けました。式は終始和やかに進行していき、代表取締役社長の三輪が表彰状を贈るときには、受賞者1人1人とのこれまでのエピソードを添えながら手渡しました。(2024年度9月基準)



勤続年数30年の社員



集合写真

優良従業員表彰

境港商工会議所にて優良従業員表彰式が執り行われました。境港市内の事業所から、永年にわたり業務に精励した多くの皆さまが表彰を受けられる中、弊社からも5名の社員が受彰しました。当日は、商工会議所副会頭を務める三光ホールディングス代表取締役CEO三輪陽通と、表彰者4名が出席しました。



当日の出席者

営業部門勉強会

本社にて、営業部門勉強会を行いました。今回の勉強会は営業部門の人材育成を目的として行われ、執行役員で営業本部、西日本営業部 部長が講師を務め、約30名(オンラインを含む)が参加しました。各工場に関する設備や処理方法の他、取得している廃棄物処理業許可などの「三光の強み」を改めて理解することを中心に講義を行いました。これらを通じて、お客様が抱えるどのような廃棄物でも、処理のお悩みにもご提案ができるようになることを目標としています。



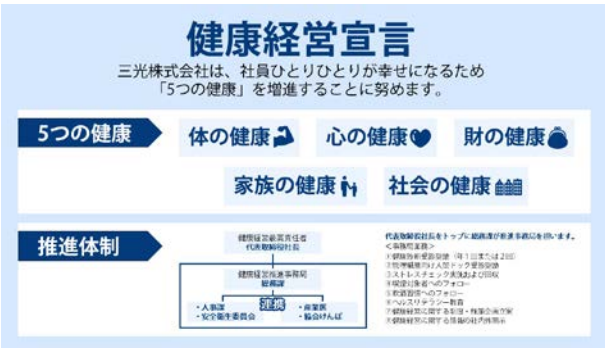
講義の様子

【その他実施研修】

- 新管理職者研修 ●若手社員研修
- 新入社員研修 ●女性営業ミーティング など

健康経営宣言

社員ひとりひとりが幸せになるため「5つの健康」を増進することに努める「健康経営宣言」を行いました。「5つの健康」を達成するために定めた8つの業務を、代表取締役社長をトップに推進事務局、健康経営に携わる各拠点が連携し、取り組んでいます。



健康経営の推進体制

IR大会・新年会

2024年1月20日(土)、皆生グランドホテル天水(鳥取県米子市)にて三光株式会社のIR大会(実績報告会)・新年会が4年ぶりに開催されました。IR大会では、社長の三輪より第45期経営方針についての説明の他、「かいぜん大賞」、「環境整備賞」、「資格取得者」の表彰を行い、日頃の社員の頑張りを称える場となりました。新年会では、全国各地の拠点から222名の社員が一堂に会し、部署を越えた交流を行いました。



かいぜん大賞表彰の様子



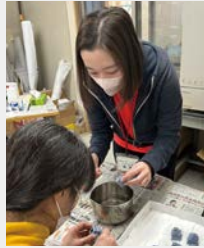
新年会での交流

People



株式会社サンライズさんこう 長澤 萌菜

三光特例子会社サンライズさんこうでは、B型サービス部門に所属しており、職業指導員として、主に利用者の皆さんの作業の指導や補助などを行っています。また、お客様から注文いただいた商品の製作・検品・梱包作業も担当します。日中の仕事が終わるとトランポリンの練習に励む、幅広い活躍がヒカル自慢の社員です！



三光自慢の社員！

Q 仕事とトランポリンをどのように両立しているのですか？

A 私は週5日、仕事終わりと土日祝にも練習をしています。仕事とトランポリンの両立を苦に思ったことはなく、どちらも楽しく一生懸命に打ち込むことが出来ています。それも全て職場の皆さんのおかげで、仕事が終わる練習に向かう時や、試合や合宿に向かう際、職場の皆さんが必ず暖かい応援と共に送り出してくださいます。それがとても励みになり、日々の仕事とトランポリンの両立を

続けることが出来ています。

Q 仕事とトランポリンを両立について、どんな思いで日々取り組んでおられますか？

A 会社の名前を背負って大会に出場する以上、結果を残さないといけないと常々思っています。ですが結果ばかりに捉われて、トランポリンが好きという根本の気持ちを忘れてしまわないように気を付けています。また、周りの皆様が私のことを応援してくださっていることへの感謝を常に持って、それを励みに日々仕事と競技に取り組んでいます。



トランポリンの活動中

Topics

健康経営～育児休暇制度～

健康経営の側面からワーク・ライフ・バランスを支援する制度として、育児休暇制度を導入しています。今回は実際に育児休暇を取得した社員2名にお話を伺いました！



澤田 英徳

収運課所属／2016年8月入社

私は現在は配車係として勤務しています。今回約1ヶ月の育児休暇を取得しましたが、自分が担当する車両が決まっていることから、初めは育児休暇取得するのは難しいのではないかと考えていました。しかし上司・同僚の皆さんが親身になって話を聞いてくださり育児中も育児後も自分の仕事をフォローしてくだ

さったため、安心して育児を取得することができました。育児中は、子どものことはもちろんですが妻の体調回復のための期間としても考えていました。妊娠・出産に関して男性はとて無力で、出来ることが本当に少ないということを痛感しました。その分、出産後は自分ができることは全てやろうと思い不慣れな食事作りも教えてもらい、家事のスキルも上達しました！育児も、妻と協力しあい悩みながら少しずつ自分も成長することができたと思います。家族で過ごした育児中の時間はとても有意義なものでした。理解し支えてくださった上司・同僚の皆さん、氣にかけて声をかけてくださった他部署の皆さん、ありがとうございました。



安達 浩也

技術推進課所属／2022年7月入社

私は主な業務として、各工場の定期修理計画(工事内容の提案や選定から稟議承認まで)や、その修理予算の計画を行っています。また、一般的な電気工事やその他の雑務も担当しています。今回、育児休暇を取得した一番の理由は、家族との時間を大切にしたいという思いからです。私も妻も初めての子供ということ

で、これからの育児の流れを作るためにも、育児を取ることを決断しました。社会的にはまだ男性の育児取得が一般的ではないと感じることもあり、部署によっては取得しにくい場合があるかもしれませんが、幸いにも三光では、人事の方が親身に相談に乗ってくれたり、取得方法や期間などもきちんと整備されていたりと男性の育児取得に対して前向きに検討できる環境が整っていると思います。子供の0～1歳の大事な時期を共に過ごすことは、私自身にとっても妻にとっても貴重な時間です。もし育児取得を考えている方がいれば、ぜひ前向きに検討してほしいと思います。

SANKO Group 三光グループ

出雲村田製作所様との合同漏洩訓練をしました

三光・三光エナジーサービス

株式会社出雲村田製作所様が実施する漏洩事故対応訓練に、グループ会社の三光エナジーサービス株式会社と共に参加しました。本訓練への参加は今年で4回目となります。訓練では、「雨天時の廃液引取り作業中にトラブルが発生し、小規模な漏洩が起きた」というシナリオを想定し、実践形式で行いました。実際の作業現場で実車両を使用するこ

とで、本番に限りなく近い状況を再現し、参加者全員が真剣かつ緊張感を持って訓練に臨みました。訓練終了後には振り返りを行い、改善点やさらに想定しておくべき点なども見つけ、大変有意義な訓練となりました。



全体ミーティング



本番を想定した訓練の様子

松江市危険物保安協会から優良事業所表彰されました

三光エナジーサービス

松江市危険物保安協会より「優良事業所」として表彰を受けました。この表彰は、危険物の安全管理および災害防止を積極的に推進し、保安体制の確立に寄与した事業所に贈られるもので、今年は3つの事業所が選ばれました。三光エナジーサービス株式会社では引き続き、安全輸送・安全荷役でお客様のもとまで商品をお届けしていきます。



障がい者雇用優良事業所等知事表彰を受彰しました

サンライズさんこう

特例子会社の株式会社サンライズさんこう 統轄部長安達が、鳥取県より「障がい者雇用優良事業所等知事表彰＜障がい者雇用功労者＞」として知事表彰を受彰しました。この表彰は、障がい者の雇用促進と職場定着を推進するため、障がい者雇用に積極的に取り組んでいる事業所や、障がいを乗り越えて模範的な職業人として働いている方々に贈られます。今後も障がいのある方々の雇用の促進と安定を図る企業として地域に根差した会社を目指していきます。



■ 本功績を表彰し、三光グループ褒章を授与

Data

財務データ、社会データ、環境データ

Financial data, Social data, Environmental data

各活動実績データ、産業廃棄物
処分業、収集運搬業許可一覧を
掲載しています。

活動実績データ

財務データ

科 目	46 期	45 期	差 額
	2023年10月～2024年9月	2022年10月～2023年9月	
売 上 高	8,897百万円	8,159百万円	738百万円
粗 利 益	6,877	6,014	863
販 売 管 理 費	5,380	4,999	381
営 業 利 益	1,497	1,016	481
経 常 利 益	2,490	1,388	1,102

社会データ

従業員数の内訳 (2024年3月末現在)

従業員数	男 性	女 性
320名	255名	65名

雇用状況

平 均 年 齢	44歳 (2024年4月1日)
平 均 勤 続 年 数	9年 (2023年度)
障 が い 者 雇 用 者 数	15名 (2023年度)

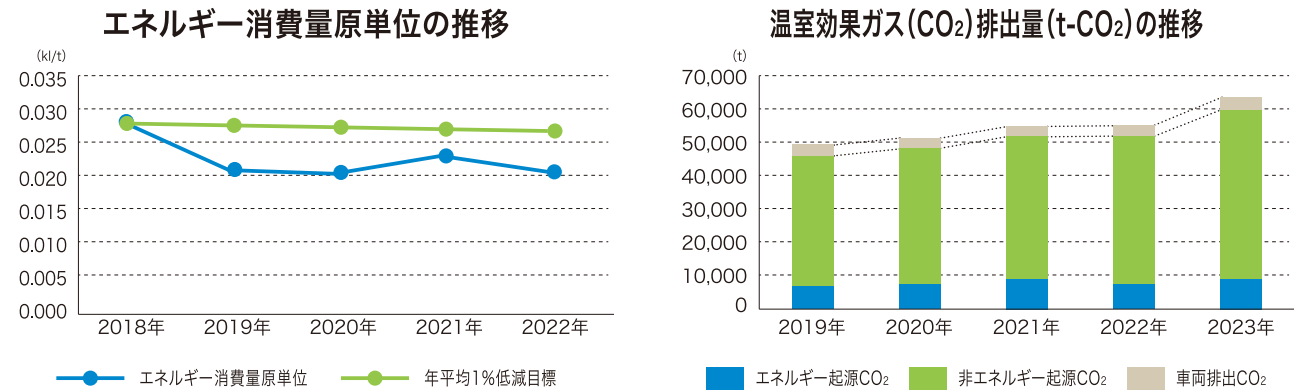
階層別女性労働者の割合 (2024年3月末現在)

一 般 社 員	64名 (22%)
管 理 職	1名 (4%)
役 員	0名 (0%)

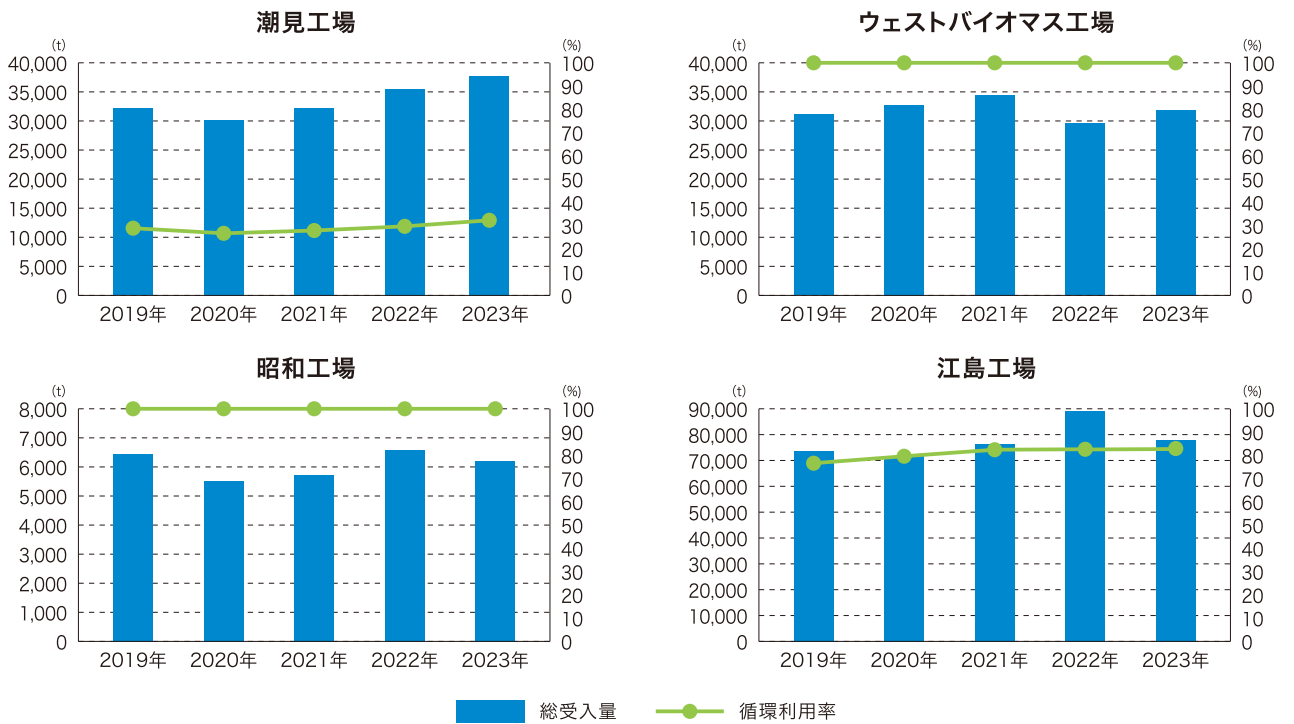
育児休業関連 (2023年4月～2024年3月末まで)

育 児 休 業 取 得 対 象 者 数			育 児 休 業 取 得 人 数		
女性	男性	計	女性	男性	計
4名	4名	8名	4名	0名	4名

環境データ



再資源化



2023年度の排ガス分析データ

潮見工場			ウェストバイオマス工場			江島工場		
	測定値	法規制値		測定値	法規制値		測定値	法規制値
ばいじん [g/Nm]	0.002	0.08	ばいじん [g/Nm]	0.004	0.15	ばいじん [g/Nm]	0.008	0.08
硫黄酸化物 [K値]	0.304	17.5	硫黄酸化物 [K値]	0.284	17.5	硫黄酸化物 [K値]	0.073	17.5
窒素酸化物 [ppm]	87.0	250	窒素酸化物 [ppm]	150.0	250	窒素酸化物 [ppm]	109.0	250
塩化水素 [mg/Nm]	39.0	700	塩化水素 [mg/Nm]	9.1	700	塩化水素 [mg/Nm]	16.0	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.031	1	ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.035	5	ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.02	1

許可一覧

産業廃棄物処分業許可・事業所一覧

	産 業 廃 棄 物															特 別 管 理 産 業 廃 棄 物															※		
工場	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	家畜ふん尿	ばいじん	鉱さい	引火性廃油	引火性廃油 有害	強酸	強酸 有害	強アルカリ	強アルカリ 有害	感染性廃棄物	燃えがら 有害	廃油 有害	汚泥 有害	廃酸 有害	廃アルカリ 有害	ばいじん 有害	低濃度PCB廃棄物	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●					●	●																
	●	●	●		●		●		●			●	●				●																
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																	

※環境大臣認定 ※詳細な許可情報について、三光webページの「情報開示」に掲示しております。

産業廃棄物処理業許可一覧

2025年1月現在

地方	行政名称	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物
処 分 業			
中国地方	鳥 取 県	● 03124003489	● 03174003489
	島 根 県	● 03220003489	
	松 江 市	● 12920003489	
収 集 運 搬			
中国地方	鳥 取 県	● 03114003489	● 03164003489
	鳥 取 市	● 12811003489	● 12861003489
	島 根 県	● 03210003489	● 03260003489
	松 江 市	● 12910003489	
	岡 山 県	● 03303003489	● 03353003489
	広 島 県	● 03400003489	● 03450003489
	山 口 県	● 03506003489	● 03556003489
九州地方	福 岡 県	● 04000003489	● 04050003489
	大 分 県	● 04408003489	
四国地方	高 知 県	● 03900003489	
	徳 島 県	● 3600003489	
	香 川 県	● 03709003489	
	愛 媛 県	● 03807003489	
近畿地方	京 都 府	● 02601003489	● 02651003489
	滋 賀 県	● 02501003489	● 02551003489
	兵 庫 県	● 02804003489	● 02854003489
	大 阪 府	● 02700003489	● 02750003489
	奈 良 県	● 02900003489	● 02950003489
	三 重 県	● 02400003489	
	和歌山県	03000003489	
収 集 運 搬			
中部地方	福 井 県	● 01805003489	● 01855003489
	愛 知 県	● 02300003489	02350003489
	静 岡 県	● 02201003489	02251003489
	山 梨 県	● 01900003489	01950003489
	長 野 県	● 2009003489	● 2059003489
	岐 阜 県	● 02100003489	01250003489
	富 山 県	● 01601003489	● 01651003489
関東地方	石 川 県	01709003489	01759003489
	東 京 都	● 13-10-003489	● 13-60-003489
	神奈川県	● 01403003489	● 01453003489
	埼 玉 県	● 01101003489	● 01151003489
	千 葉 県	● 01200003489	● 01250003489
	群 馬 県	● 01000003489	01050003489
	栃 木 県	● 00900003489	00950003489
沖縄地方	茨 城 県	● 00801003489	00851003489
	沖 縄 県	● 04704003489	● 04754003489

I want to keep looking for the "can do" until the end.

最後まで「できる」を探し続けたい。

年間処理数量

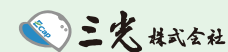
179,032_{t/年}
(2023年度実績)

Jクレジット残高

2,085_{t-CO₂}
(2023年1月現在)



グループの経営戦略策定及び経営管理
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sanko-hd.co.jp>



三光 株式会社
総合環境事業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp>



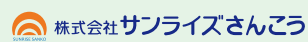
三光 エナジーサービス株式会社
石油輸送・販売事業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://www.sanko-es.jp>



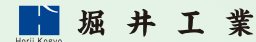
H-tec 株式会社エイチテック
建設コンサルタント
〒720-0822 広島県福山市川口町一丁目16-35
<https://www.h-tec2004.co.jp>



株式会社コ-ケン
土木建築
運送
解体
産業廃棄物処理事業
〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
<https://koken-yasugi.co.jp>



株式会社サンライズさんこう
障がい福祉サービス
産業廃棄物処理事業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp/sunrise>



堀井工業
土木建築設計
〒901-2126 沖縄県浦添市宮城2-7-2 404号
<https://horiikogyo.com>



■ 本社
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17
TEL 代表 0859-44-5367 FAX 代表 0859-42-3864
営業 0859-42-5533 営業 0859-47-4532



■ 沖縄営業所
〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-5-7 山内ビル303
TEL 098-988-8610 / FAX 098-988-8444



■ 浜田営業所
〒697-0006 鳥取県浜田市下府町327-71
TEL 0855-24-1267 / FAX 0855-24-1277



■ 中部営業所
〒455-0024 愛知県名古屋市中区大津3
(JERA西日本支社ビル内)
TEL 0859-21-2100 / FAX 0859-47-4531



■ 板橋営業所
〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-7-6
TEL 03-5914-0288 / FAX 03-5914-0299



■ 東日本営業部
〒111-0052 東京都台東区柳橋1丁目3-6
VORT浅草橋駅前血10階
TEL 03-6263-0480 / FAX 03-6263-0481



■ 安来支店
〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
(株式会社コーケン内)
TEL 0854-27-7705 / FAX 0854-22-4288



■ 倉吉営業所
〒682-0913 鳥取県倉吉市和田東町146-3
TEL 0858-27-0270 / FAX 0858-24-6020



■ 鳥取支店
〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町湯山544-1
TEL 0857-75-2551 / FAX 0857-74-3551



■ 出雲支店
〒699-0621 鳥取県出雲市斐川町富村653
TEL 0853-73-7310 / FAX 0853-72-5117



■ 山陽支店
〒719-1162 岡山県総社市岡谷105-3
TEL 0859-42-5533 / FAX 0859-47-4532



■ 江島工場
〒690-1401 鳥取県松江市八束町江島1128番地105
TEL 0852-76-3586 / FAX 0852-76-3426



■ 潮見コンビナート(潮見工場7号炉・10号炉)
〒684-0074 鳥取県境港市潮見町1番
TEL 0859-44-5277 / FAX 0859-44-7500



■ 潮見コンビナート(ウェストバイオマス工場)
〒684-0074 鳥取県境港市潮見町2番地2
TEL 0859-21-4860 / FAX 0859-21-4861



■ 昭和工場
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地11
TEL 0859-42-6960 / FAX 0859-42-6961

編集後記

Sustainability Report 2024『みらいbook』をご覧いただき、ありがとうございました。本レポートの作成にあたり、『過去から学び、次なる挑戦を』というテーマを設けました。この1年は、コロナウィルスの影響で開催が出来ていなかったイベントや定例行事をリニューアル開催する機会が増えました。これに

より、日頃お世話になっているお客さま及び地域の皆さまとのつながりや、弊社の事跡を改めて大切に感じています。今後も、これまで培ってきた歴史を重ね、新たな成長を遂げるために、大きな地層を作り上げていきたいと思います。

総務課 山本、田川、石川、伊達